

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月1日

上場会社名 株式会社 安永 上場取引所 東
 コード番号 7271 URL <https://www.fine-yasunaga.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 北村 直紀 TEL 0595-24-2122
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 2021年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年3月期第2四半期	15,216	17.6	229	—	260	—	138	—
2021年3月期第2四半期	12,939	△22.3	△849	—	△882	—	△1,144	—

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 587百万円（－％） 2021年3月期第2四半期 △1,792百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	11.60	—
2021年3月期第2四半期	△95.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2022年3月期第2四半期	31,207	9,232	29.6
2021年3月期	30,952	8,692	28.1

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 9,231百万円 2021年3月期 8,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	4.00	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	29,200	△0.3	△550	—	△570	—	△660	—	△55.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	12,938,639株	2021年3月期	12,938,639株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	975,309株	2021年3月期	975,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	11,963,330株	2021年3月期2Q	11,963,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動の停滞が続く中、鉱工業生産は持ち直しの動きがみられたものの、足元では再び弱い動きとなっており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、世界的な半導体不足や、東南アジアでの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う部品調達難により生産縮小を余儀なくされており、特に8月以降その傾向が顕著となりました。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高152億16百万円（前年同期比17.6%増加）、営業利益2億29百万円（前年同期は営業損失8億49百万円）、経常利益2億60百万円（前年同期は経常損失8億82百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億38百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失11億44百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エンジン部品事業)

新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕著であった前年同期に比べ、売上、利益とも大幅に増加しました。しかしながら自動車メーカーの部品調達難による生産調整の影響等により、直近では回復ペースは鈍化傾向にあります。その結果、売上高102億12百万円（前年同期比38.2%増加）、営業利益2億96百万円（前年同期は営業損失8億77百万円）となりました。

(機械装置事業)

電子部品、半導体業界向けのワイヤソーや検査測定装置の売上は増加しましたが、主に自動車業界向けの工作機械の売上が大幅に減少しました。一方、利益はプロダクトミックス等により前年同期と同水準となりました。その結果、売上高25億18百万円（前年同期比25.6%減少）、営業損失1億93百万円（前年同期は営業損失1億97百万円）となりました。

(環境機器事業)

エアーポンプの売上は微増となったものの、原材料市況の高騰により利益は減少しました。一方、ディスプレイは売上、利益とも堅調に推移しました。その結果、売上高23億30百万円（前年同期比14.3%増加）、営業利益1億44百万円（前年同期比45.7%減少）となりました。

(その他の事業)

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高1億54百万円（前年同期比19.6%増加）、営業損失34百万円（前年同期は営業損失55百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億55百万円（前連結会計年度末比0.8%）増加し、312億7百万円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円（前連結会計年度末比2.4%）増加し、171億52百万円となりました。

この増加の主な要因は、商品及び製品の増加5億21百万円、原材料及び貯蔵品の増加4億69百万円や現金及び預金の減少2億73百万円、受取手形及び売掛金の減少2億36百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億41百万円（前連結会計年度末比1.0%）減少し、140億54百万円となりました。

この減少の主な要因は、有形固定資産の減少1億36百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3億49百万円（前連結会計年度末比2.5%）増加し、143億40百万円となりました。

この増加の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加2億82百万円、電子記録債務の増加1億37百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6億34百万円（前連結会計年度末比7.7%）減少し、76億34百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少6億39百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億39百万円（前連結会計年度末比6.2%）増加し、92億32百万円となりました。

この増加の主な要因は、為替換算調整勘定の増加3億55百万円、利益剰余金の増加90百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表した数値から変更しております。詳細につきましては、本日（2021年11月1日）公表の「業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,001	4,728
受取手形及び売掛金	4,790	4,553
電子記録債権	953	975
商品及び製品	1,551	2,072
仕掛品	2,208	2,026
原材料及び貯蔵品	1,491	1,961
未収入金	412	299
その他	347	536
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,756	17,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,465	11,593
減価償却累計額	△7,683	△7,808
建物及び構築物（純額）	3,781	3,784
機械装置及び運搬具	30,726	31,417
減価償却累計額	△24,879	△25,800
機械装置及び運搬具（純額）	5,847	5,616
工具、器具及び備品	5,539	5,639
減価償却累計額	△5,158	△5,205
工具、器具及び備品（純額）	381	434
リース資産	658	267
減価償却累計額	△329	△148
リース資産（純額）	329	119
使用権資産	114	119
減価償却累計額	△40	△57
使用権資産（純額）	73	62
土地	2,241	2,251
建設仮勘定	231	479
有形固定資産合計	12,885	12,749
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	612	657
繰延税金資産	32	28
その他	538	462
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,179	1,144
固定資産合計	14,195	14,054
資産合計	30,952	31,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,004	3,047
電子記録債務	439	577
短期借入金	5,150	5,150
1年内返済予定の長期借入金	2,521	2,803
未払金	1,728	1,648
リース債務	62	40
リース負債	27	20
未払法人税等	76	61
賞与引当金	360	424
工事損失引当金	2	24
設備関係支払手形	0	4
その他	615	537
流動負債合計	13,990	14,340
固定負債		
長期借入金	7,210	6,571
リース債務	232	211
リース負債	50	45
繰延税金負債	272	333
役員退職慰労引当金	72	50
環境対策引当金	17	—
退職給付に係る負債	339	347
資産除去債務	74	74
固定負債合計	8,268	7,634
負債合計	22,259	21,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	5,201	5,292
自己株式	△330	△330
株主資本合計	9,127	9,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210	242
繰延ヘッジ損益	△111	△54
為替換算調整勘定	△649	△294
退職給付に係る調整累計額	114	119
その他の包括利益累計額合計	△435	12
非支配株主持分	0	0
純資産合計	8,692	9,232
負債純資産合計	30,952	31,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	12,939	15,216
売上原価	12,034	13,287
売上総利益	904	1,929
販売費及び一般管理費	1,753	1,699
営業利益又は営業損失(△)	△849	229
営業外収益		
受取利息	17	9
受取配当金	8	11
為替差益	—	26
受取賃貸料	11	9
スクラップ売却益	3	15
その他	13	15
営業外収益合計	54	87
営業外費用		
支払利息	56	42
為替差損	15	—
減価償却費	0	—
その他	15	13
営業外費用合計	87	55
経常利益又は経常損失(△)	△882	260
特別利益		
固定資産売却益	1	0
助成金収入	31	—
特別利益合計	32	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	3	—
固定資産除却損	0	0
新型コロナウイルス感染症による損失	182	—
特別損失合計	186	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,037	261
法人税、住民税及び事業税	127	70
法人税等調整額	△20	52
法人税等合計	107	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,144	138
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,144	138

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,144	138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	31
繰延ヘッジ損益	19	56
為替換算調整勘定	△755	355
退職給付に係る調整額	37	4
その他の包括利益合計	△648	448
四半期包括利益	△1,792	587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,792	587
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,387	3,383	2,038	12,809	129	12,939	—	12,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15	—	15	231	246	△246	—
計	7,387	3,398	2,038	12,824	361	13,186	△246	12,939
セグメント利益又は損失(△)	△877	△197	266	△808	△55	△864	14	△849

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額14百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,212	2,518	2,330	15,061	154	15,216	—	15,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39	—	39	234	273	△273	—
計	10,212	2,558	2,330	15,100	389	15,489	△273	15,216
セグメント利益又は損失(△)	296	△193	144	247	△34	213	16	229

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。